

見 本

催 物 開 催 届

平成 年 月 日			
(あて先) 名古屋市熱田消防署長			
届出者		電話 ()	番
住 所			
氏 名			
火災予防条例第69条の規定により、催物の開催を届け出ます。			
開 催 日 時	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 時 分から 時 分まで		
開 催 場 所	地名地番	名古屋市熱田区熱田西町1番1号	
	名 称	名古屋国際会議場	本来の用途 コンベンションホール
	位 置	← 面積	← m ² 客席の構造
種 別		目 的	
収 容 人 員	名	避難誘導及び消火活動に従事できる人員	名
消防用設備の概要	スプリンクラー・消火栓・消火器の配備		
防火管理者氏名	名古屋国際会議場 副館長 広間みゆき	映写技術者氏名 免 状 番 号	
その他必要な事項	禁止行為解除に関する申請書 (有 ・ 無)		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

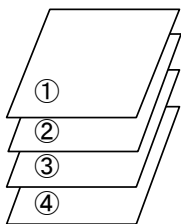
位置と面積(m²)

センチュリーホール
2360
イベントホール
1920
白鳥ホール
1250
(670、550)
レセプションホール
670
(310、310)
展示室
455
(260、195)

センチュリーホール
1F席 1510
2F席 774
3F席 718

注 ※印の欄は、記入しないこと。

二部作成してください。



- ←①禁止行為解除に関する申請書
- ←②催物開催届
- ←③自衛消防隊編成表
- ←④会場平面図(防災対象物品を使う場所・種類
数量・認定番号を記入すること。)

喫煙所の設置・喫煙
裸火の使用
危険物品の持込

禁止行為解除に関する申請書

平成 年 月 日

(あて先)名古屋市熱田消防署長

申請者 電話 () 番

住所
氏名

印

指定場所における喫煙所の設置・喫煙裸火の使用をしたいので、火災予防条例第28条第1項危険物品の持込
ただし書の規定による認定を申請します。

防火対象物	所在地			
	名称		業態	
認定を申請する行為	期間	平成 年 月 日	から	年 月 日
	理由			
	内容			
行為者	住所			
	職氏名			
認定を申請する行為をしようとする場所の状況				
消防用設備等の概要				
その他必要な事項				
※ 認定条件				
※ 受付欄			※ 経過欄	

- 注 1 ※印の欄は記入しないこと。
2 認定を申請する行為をしようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図(消防用設備等の配置図を含む。)を添付すること。

統括防火管理者 確認	
平成 年 月 日	
印	

催 物 開 催 届

平成 年 月 日

(あて先) 名古屋市熱田消防署長

届出者 電話 () 番

住 所

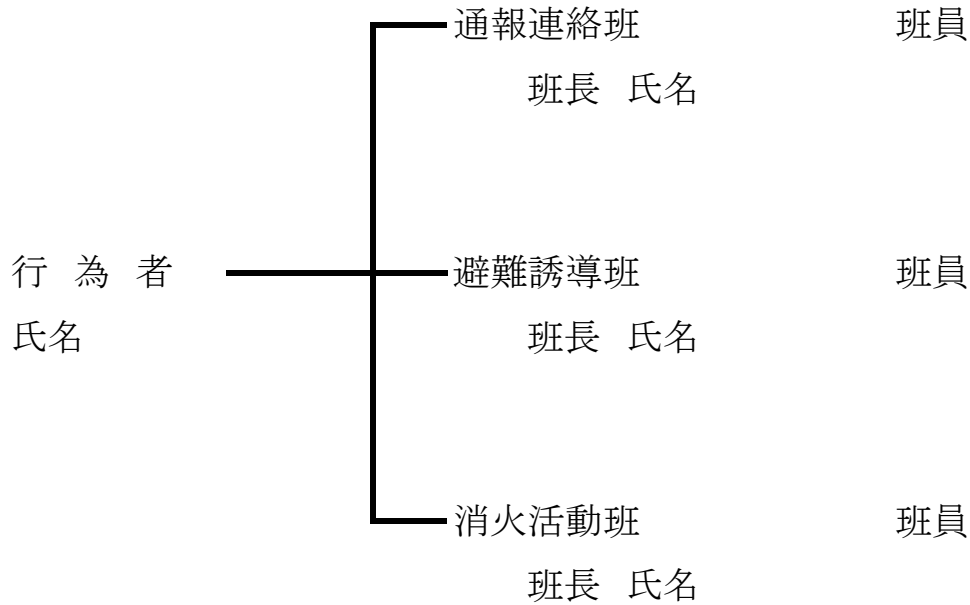
氏 名

火災予防条例第69条の規定により、催物の開催を届け出ます。

開催日時	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 時 分 から 時 分 まで				
開催場所	地名地番	名古屋市熱田区熱田西町1番1号			
	名称	名古屋国際会議場	本来の用途	コンベンションホール	
	位置		面積	m ²	客席の構造
種 別		目 的			
収 容 人 員	名	避難誘導及び消火活動に従事できる人員		名	
消防用設備の概要	スプリンクラー・消火栓・消火器の配備				
防火管理者氏名	名古屋国際会議場 副館長 広間みゆき	映写技術者氏名 免 状 番 号			
その他必要な事項	禁止行為解除に関する申請書(有・無)				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

注 ※印の欄は、記入しないこと。

自衛消防隊編成表



(注) 各班の任務は、次のとおりとする。

1 通報連絡班

- (1) 大声又は非常ベルをもってみんなに知らせる。
- (2) 119番をもって通報する。

2 避難誘導班

- (1) 安全な通路より避難誘導する。
- (2) 逃げ遅れた人を避難器具で安全な場所へ避難させる。

3 消火活動班

- (1) 消火器、水バケツ等で消火する。
- (2) 消火栓その他の消火設備で消火する。